



CONTENTS

ガバナーズレター	1
公式訪問だより(会長の抱負)...	5
コーディネーターニュース	9
2019-20年度ガバナー補佐	10
2019-20年度ガバナー事務所開設	10
第36回インターアクト地区年次大会	11
2018-2019年度アクトの日	12
2018学年度 米山記念奨学生・ カウンセラー合同ミーティング	12
ロータリー研修デーのお知らせ	13
クラブプロジェクト紹介 (芦屋川)	13
地区補助金プロジェクト (甲子園・西宮夙川)	14
新会員紹介	15
ご寄付感謝	15
ガバナー事務所からのお知らせ	16
訃報	16
10月・11月地区活動予定	17
文庫通信	17
出席報告	18

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2018-19



GOVERNOR **Muneyoshi Yano**



国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ会長、幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 矢野 宗司 (加古川中央)

先月号では、ロータリーにおけるidentityとその変化について話をしました。ところで2016年の地区職業奉仕委員会（宇尾委員長）が行ったアンケートでは「決議23-34」を理解している人は33%、ロータリアンの3分の1にしか過ぎません。残念ながら、ロータリーへの理解と関心が低いと言わざるを得ません。公式訪問においても、会員の研修がよく話題になります。そこで、今月はロータリーにおけるターニングポイントを、その初期について述べていきながら、ロータリーの歴史を振り返っていきます。

1. ロータリークラブの創設

1905年2月、シカゴで誕生したロータリークラブはその定款において、2つの目的が明記されています。

- ①会員の事業上の利益の促進→相互扶助、互恵主義
- ②通常、社交クラブに付随する良き親睦とその他の特に必要と思われる事項の推進→社交クラブとしての親睦

すなわち、ロータリークラブは**会員相互の扶助と親睦**を目的として創設されました。**一業種一会員制**のもと、会員間の職業上の相互扶助が大きな要素であり、会員資格はシカゴ市内において合法的な事業に従事している経営者、共同経営者、または会社役員等、企業の経営者を中心として構成され、新会員

は例会において出席会員の全会一致によって選ばれました。そして、4回連続例会を欠席し、満足すべき始末書を提出することを怠ったり、例会に出席した会員の大部分がその説明に満足しない限り、そのような怠慢が会の更なる活動を阻害する理由により、会員身分が終結されました。また、幹事は商取引の記録を保存することが任務とされ、統計係は会員による商取引の結果を例会において報告し、その報告を保管することが任務とされました。このことから活動の中心は例会だけであったことがわかります。また細則において、例会については7・8月を休会とし、半月ごとに例会を開催することとされました。（※この項、田中毅PDGの文献を参照）

このように創設期のロータリーは閉鎖的な社交クラブとして会員間の親睦と商取引における相互扶助を目的として始まりました。しかしながら、このことによって会員は瞬く間に増加することになります。わずか4名でスタートしたシカゴ・ロータリークラブは4年後の1909年には300名にまで膨れ上がります。

2. 奉仕概念の芽生え

破竹の勢いで会員を増やしていったシカゴ・ロータリークラブに一つの転機が訪れます。それが**ドナルド・カーター事件**です。1906年の春、ドナルド・カーターはロータリーへの勧誘に対して、「自分た

ちの利益だけを追求するエゴイズムの団体には持続性はない。そのような団体に魅力を感じない」ということで入会を断ります。これに対して、ポール・ハリスは大いに考えさせられ、ロータリーの対外的活動を検討します。そして、1906年12月、定款に3つ目の目的が付け加わります。すなわち、

③シカゴの最大の利益の推進、及び市民の誇りと忠誠とを市民の間に広めること

ここに、ロータリーにおける**奉仕の概念**が生まれます。そして翌年、市内に市民のための公衆トイレを設置することを決めます（1909年完成）。これが最初の奉仕プロジェクトです。



しかしながら、ロータリークラブが奉仕に全面的に傾斜していった訳ではありません。**親睦派と奉仕派の対立**が激化することになります。その間にも全米でロータリークラブが次々と生まれます。そして、ポール・ハリスはその軸足をシカゴ・ロータリークラブ以外に求めます。それによって生まれたのが1910年、全米16クラブの連合体として誕生した全米ロータリークラブ連合会であり、ポール・ハリスが初代会長に就任します。

3. 全米ロータリークラブ連合会から 国際ロータリークラブ連合会へ

全米ロータリークラブ連合会の最初の主な綱領は

①アメリカ全土に加盟ロータリークラブを結成することにより、ロータリーの原則を拡大発展させること

②アメリカ全土の加盟ロータリークラブの業務と原則を統一すること

③市民としての誇りと忠誠心を喚起しかつこれを奨励すること

④進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること

⑤加盟ロータリークラブの会員個人の事業の利益を増大すること

でした。これによって初期の物質的相互扶助から脱皮し、また、職業倫理の芽生えが見られます。すなわち「進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること」という項目です。ロータリーが始まったころの世情は無秩序とも言える競争、誇大広告や虚偽広告への罪悪感もなく、詐欺的取引や不法な取引が横行していました。それに対して、「尊敬すべき商取引の推進」という項目が付け加えられたのです。

そして、1911年、「ロータリー宣言」が採択され、その結びにシェルドンの「**He profits most who serves best**」が掲載されます。



全米ロータリークラブ連合会 第一回シカゴ年次大会

1912年、アメリカ以外のロータリークラブも参加する中で、国際ロータリークラブ連合会と改称され

ます。そして、ロータリーの**職業奉仕の概念**を推進させたのが、1915年のサンフランシスコ大会です。ここで、「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」（道徳律）が採択され、翌年、ガイ・ガンディカーが「A Talking Knowledge of Rotary」すなわち、「ロータリー通解」を世に出すことになり、ロータリーの職業奉仕概念が確立することになります。

4. 倫理運動としてのロータリー

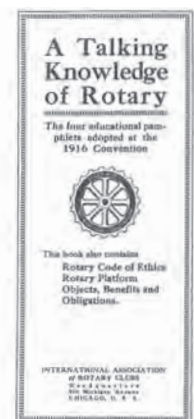
この**ロータリー倫理訓**（The Code of Ethics）は、後に宗教的要素が強い等の批判から1931年に頒布が禁止、1951年に廃止されることとなりますが、倫理運動としてのロータリーに強い影響を与えます。全11項目に及ぶこの倫理訓の重要な項目を抜粋します。

- ・自分の職業は価値あるものであり、社会に奉仕する絶好の機会を与えられたものと考えること
- ・自己改善を図り、実力を培い、奉仕を広げること。それによって、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というロータリーの基本原則を実証すること
- ・自分は企業経営者であるが故、成功したいという大志を抱いていることを自覚すること、しかし、自分は道徳を重んじる人間であり、最高の正義と道徳に基づかざる成功は、全く望まないことを自覚すべきこと
- ・自分が従事している職業の倫理基準を高めるために最善を尽くすこと
- ・最後に「すべての人にしてもらいたいと欲することを人に対して行うべし」という黄金律の普遍性を信じること

ロータリアンの職業上の実践や倫理観をまとめた倫理訓（道徳律）は、以後のロータリーを、職業倫理を向上させる運動として位置づけることになり、ロータリアンの道標として40年近くにわたって世界中のロータリアンの事務所に掲げられることとなります。そして、この倫理訓も含めたガイ・ガンディカーの「**ロータリー通解**」（A Talking Knowledge of Rotary）※は、ロータリーの理想と活動の在り方を体系的、包括的にまとめ上げ、それまでばらばらに行われてきた各クラブの管理や運営を標準化するものであり、ロータリーのクラブ管理運営のテキストとして採用されることになり、広くロータリアンに親しまれ、ロータリー運動の普及に貢献することになります。



ガイ・ガンディカー



5. 決議23-34

これらの影響を強く受けて1923年のセントルイス大会で採択されたのが、**決議23-34**です。これによってロータリー理念、原則が確立されます。元々は多額の金銭的支出を伴うクラブによる団体奉仕を認めるか否かによる対立で、**理念派と実践派の対立**により、ロータリーは分裂の危機に瀕します。そして、国際ロータリーは両派の考えを調和するとともに論争の終止符を打つこととなります。全文を掲載するには紙面が足りませんので、

重要な部分だけを記します。

1. ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕-「**超我の奉仕**」-の哲学であり「**最もよく奉仕する者、最も多く報いられる**」という実践理論の原則に基づくものである。
2. 本来ロータリークラブは、秘密の誓約とか教理信条といったものは一切無く、それぞれのロータリアンが独自の方法で、事業人及び専門職業人の代表として、ロータリーの奉仕の哲学を受入れ、次の四つのことを実行することを目指している人々の集まりである；先ず第一に、奉仕の理論が職業及び人生における成功と幸福の真の基礎であることをクラブとして学ぶこと；第二に、自分たちの間においても、また地域社会に対しても、その実際例をクラブで示すこと；第三に、各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業及び日常生活において実践に移すこと；そして第四は、個人として、またクラブとしても大いにこの教えを説き、その実例を示すことによって、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外の人々のすべてが、理論的にも実践的にも、これを受入れるように励ますこと。
3. 奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことを言うのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならない。そして、ロータリアン個人もロータリークラブ

も、奉仕の理論を実践に移さなければならない。

決議 23-34 は、国際ロータリー並びにロータリークラブの未来の指針として綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針を明確に表すために提案されたものであり、これによって、ロータリー理念、原則が確立されることとなります。

このように初期ロータリーにおいて、創立からおよそ20年でロータリーにおける職業倫理、組織理論、実践原理という3つの要素が確立することになります。そして、1920年に誕生した日本のロータリーは当然これらの影響を色濃く受けるとともに、それまでの日本人の人生観と融合した形でスタートすることになります。なお、日本のロータリーの歩みについては改めて触れていきます。

※ガイ・ガンディカー著「A Talking Knowledge of Rotary」については、次の訳本があります。

ロータリー通解	小堀 憲助 訳
ロータリーの心得	田中 毅PDG 訳
ロータリーの日常の知識	三木 明PDG 訳



台風のため、 3クラブの訪問が延期に

順調に進んでいる公式訪問ですが、3クラブが台風のため延期になってしまいました。台風や震災のため、訪問がずれている地区が多く出ているようです。本年度は、会長幹事懇談会では会長とのロータリー談議にウエイトを置いています。そして、訪問で得た情報をできるだけお話することによって、クラブに役立つ情報を伝えるようにしています。

西播第2グループは前田ガバナー補佐の同行の下、9月5日ですべての訪問を終えました。どのクラブも例会の出席率が非常に高く、例会を大切にされていることが実感されました。国際ロータリーは例会よりも奉仕プロジェクトを重視する方向にありますが、やはり例会はロータリーの要である、それを痛感した訪問でした。

ガバナー 矢野 宗司

尼崎ロータリークラブ

8/6
(月)



クラブ創立以来の長い歴史の中で先輩諸氏が築いてきた良き伝統を未来に繋いでいくとともに、新たな機会

に結びつくような変化を見極め遠回りすることがあっても一歩ずつ着実に変化に挑戦していく、そのような心構えで先頭に立ってクラブの運営に邁進してまいりたいと思います。

(会長：森實 啓治)

尼崎西ロータリークラブ

8/7
(火)



当クラブは二人のバスターガバナー、三人の『超我の奉仕賞』受賞者が在籍する充実したクラブとなりました。現状を礎として、

より発展したクラブ活動を実現するには、ロータリー歴の浅い会員が知識と経験を伝承され、奉仕活動へ能動的に参加することが必要不可欠と考えます。そんな未来へのスタートの一年を目指したい。

(会長：杉本 一彦)

明石ロータリークラブ

8/8
(水)



本年度、我々明石ロータリークラブは、明石からもう一度ガバナーの輩出をとという目標を掲げ、初心に帰り

伝統ある我がクラブを見つめ直し、会員がお互いにロータリーを学ぶ機会を持ち、親睦を深め、楽しいロータリーライフを送れるよう活動していきたいと思っています。

(会長：川崎 喜昭)

尼崎中ロータリークラブ

8/8
(水)



2020年6月に尼崎中RCは創立20周年を迎え、本年度は20歳という成人になる1年前に当たります。一人前のロータリークラ

ブ・ロータリアンになるべく、ロータリーの基本に戻って20周年を迎える年度とします。「親睦も 奉仕も 20周年に向けて」を会長方針として、たくさんのインスピレーションをもたらす20周年を迎えたいと思います。

(会長：佐茂 省治)

赤穂ロータリークラブ

8/9
(木)



本年度、重点方針として、会員純増2名を掲げております。

地域におけるロータリークラブの認知度を上げるため

の教育講演会やロータリーデーを実施し、地域住民に奉仕団体としての活動をご覧いただくことにより、地域の方々から「入会したい」と仰っていただけるクラブ作りをしていき、会員増強に努めたいと思います。

(会長：川島 武志)

高砂ロータリークラブ

8/10
(金)



成熟社会における精神的豊かさを優先させた価値あるロータリーを目指します。居心地のいいクラブで、

会員同士がいつでもどこでも誰とでも親睦を深め、刺激し合い尊敬し合いお互いの活力となる機会を作ります。お揃いのRI会長ロゴ入りブルーネクタイ姿はワンロータリーの証です。

(会長：坂井 智代)

豊岡ロータリークラブ

8/17
(金)



矢野ガバナーの公式訪問を受け、力強いご挨拶を頂き、メンバー全員パワーを頂きました。事前の会長幹事懇

談会で指摘されました、女性会員の増強に努め、来る70周年、100周年に向けて、市民の皆様によく理解される、身近な豊岡ロータリークラブとして、またクラブメンバーが誇りを持てる、魅力あるクラブづくりをしたいと思います。

(会長：田中 一成)

宝塚ロータリークラブ

8/20
(月)



まずは、RCの伝統をしっかりと勉強したいと思います。そのためには、先輩会員とたくさん話をしていきたいと思っています。そ

して、伝統を重視しつつも変革を怖れず、当クラブにとって「よい変化」をもたらしたいと思います。何が「よい変化」であるのか、簡単に答えは出ませんが試行錯誤しながら進めていきたいと思っています。

(会長：木野 達夫)

神戸東ロータリークラブ

8/21
(火)



今年度はクラブ創立65周年の節目の年です。ただし、10年や25年毎の大きな節目の年度と違う意味の節目の年です。この5周年の節目の年に当たっては、全会員に奉仕活動に積極的に関わっていただくことにより、会員相互の心の絆を確固たるものにし、クラブの元気活力をアップするアクセントの年にしたいと思います。

今年度はクラブ創立65周年の節目の年です。ただし、10年や25年毎の大きな節目の年度と違う意味の節目の年です。この5周年の節目の年に当たっては、全会員に奉仕活動に積極的に関わっていただくことにより、会員相互の心の絆を確固たるものにし、クラブの元気活力をアップするアクセントの年にしたいと思います。

(会長：澤田 正樹)

芦屋ロータリークラブ

8/22
(水)



今年度は「温故知新」をテーマに活動致します。当クラブは、2年後に創立60周年の節目を迎えようとしています。会員各位の協力が有形無形で生かされて今日

があり、古いものまた、今までその古さ故埋もれかけているものに多少のスポットが当たっても良いのではと思うのです。

今、芦屋ロータリークラブにも新旧の波があります。旧が決して古くて使えないものではなく、そこを見直し皆様に知恵を出して頂いてほっこりとした温かいクラブ運営を進めて参りたく存じます。(会長：長井 敏彦)

尼崎南ロータリークラブ

8/23
(木)



矢野ガバナーより活力あるクラブにするためにRIや地区のお話を頂き、当クラブの方針である、人としての関係を豊かに創造

する種を蒔き、立派な“人間関係の樹”に育み、社会に様々な果実を実らせ、そして“新しい種”を得て次世代へつなぐという、持続的なローテーションを目標に活力あるクラブにしたいと思います。

(会長：山本 澄)

三木ロータリークラブ

8/24
(金)



RCの目的を理解し、実践していく事が大事であると考えます。RIの方針を尊重し、地域の特性を踏まえ運営を行います。

基本方針

- 有意義で充実した例会の開催を図る。
 - 会員相互の交流と親睦を図る。
 - 会員個々の奉仕活動を尊重する。
 - ロータリアンとして相応しい会員の増強を図る。
- (会長：五百藏満弘)

西脇ロータリークラブ

8/27
(月)



今年度の当クラブのテーマは「和・輪を広げよう」です。例会・親睦活動・炉辺会合を通じて、会員相互の「和」を広げ、活

発な活動に取り組んで行きたいと思います。また職業奉仕・社会奉仕を通じて、この地域で奉仕の理念を実践することにより、「地域の輪」を広げ、ロータリーの活動を広く理解してもらうことで、会員増強につながればと思います。

(会長：藤本 武彦)

姫路東ロータリークラブ

8/27
(月)



姫路東ロータリークラブの会長として、クラブの45年の歴史と責任を重く受け止めており

ます。46年目の新たな年としてクラブ創立の原点を見据えて事業を進めて参ります。また、バリー・ラシンRI会長のテーマ、矢野宗司ガバナーの地区方針に則ってDO FOR OTHERS<<他者への貢献>>を実践して行きたいと思います。

(会長：山田 一郎)

洲本ロータリークラブ

8/28
(火)



本年度のクラブテーマは、「トモニイコウ」洲本RCは、一つのチームです。クラブ奉仕で、トモニ交わり 職業奉仕で、トモニ考え 社会奉仕で、トモニ汗を流し 国際奉仕で、トモニ喜び 青少年奉仕に至っ

てはトモニ悩み トモニ奉仕する喜びが、共有出来ればと思います。またもう一つの「トモニイコウ」は、平等ではなく公平な社会の構築に少しでもお役に立てればと思ひ月に一度「障害」をテーマに外部講師の先生方においていただき卓話をお願いしております。また来年1月20日には、宝塚武庫川RCの竹田契一先生（大阪教育大学名誉教授）をお招きして「発達障害」に関するセミナー（奉仕プロジェクト）を予定しております。

洲本RCは、本年度「ONE ROTARY」を目指したいと思います。
(会長：高鍋 直人)

生野ロータリークラブ

8/29
(水)



平成から新年号へ変わろうとしている2018-19年度。我が生野ロータリークラブも地区や地域から様々な変化を求められて

います。

この変化に対応すべく、クラブの原点である『親睦』を基本とし、地域のニーズを探り地域社会とのつながりを深め、ロータリーの公共イメージを向上していき会員増強につなげていきたいと思ひます。

(会長：佐竹 保)

龍野ロータリークラブ

8/30
(木)



龍野クラブが、2019年（平成31年）4月1日に創立60周年を迎えるに当たり、スローガンを「龍野クラブ創立の理念への

回帰」～良き伝統を維持するために～としました。この観点に立って今年度のクラブ運営を、RCの原点である「例会の充実」と「会員資質の向上のための研修」に重点を置いて進めて行きたいと考えております。

(会長：山口 恭弘)

明石西ロータリークラブ

8/30
(木)



矢野ガバナーに公式訪問いただきました。一人一人がロータリーの未来を考え、アイデアを出しあって、と

もに進む事が大切との熱いお言葉をいただき、元気づけられました。私の指針「Power of Rotary to the Future」を実現すべく全力で務めてまいります。

(会長：西大條 公一)

上郡佐用ロータリークラブ

8/31
(金)



8月31日に当クラブのガバナー公式訪問がありました。当日は天気もよく、また、ガバナーの熱意溢れるお話を

お聞きすることができ、和やかな中にも熱気に満ちた例会となりました。会長として、この1年ロータリーの公共イメージと認知度を高める活動を、地道に行っていきたいと思いを新たにしました。

(会長：田村 栄子)

伊丹有明ロータリークラブ

9/1
(土)



会長・幹事懇談会では矢野ガバナーからの射たご指導を頂戴いたしました。我がクラブは、創立43年です。私は「初心に帰る」を今年度のテーマにしました。私達が入会し、ロー

タリアンになった時の高揚感を思い起こし、これから50周年を迎える今、何といても新しい仲間が必要です。それからクラブの多様化を図るために伊丹地区初の女性会員もWelcomeです。若い会員とベテラン会員の良い取り合わせがあってこそ、クラブに活力が充実できるのです。一致団結してこの一年我々それらの目的達成のため努力してまいります。 (会長：津谷 功)

姫路南ロータリークラブ

9/3
(月)



わがクラブは昨年創立60周年を迎え、先輩会員が積みあげられた素晴らしい伝統・歴史をあらためて認識しこ

れらを次世代に繋げてゆく義務と責任を痛感しています。

全ての会員が「楽しく より充実した ロータリーライフ」を過ごせるように全力投球する所存です。

(会長：壺阪 嘉彦)

相生ロータリークラブ

9/5
(水)



公式訪問において、矢野ガバナーより地区運営・ロータリー全般について広く教えて頂きました。当クラブの例会は、楽しく和

気あいあいとした中にも、凛とした緊張感のあるものを、奉仕活動はロータリーの根幹である I Serve の精神で会員各自の職業奉仕をベースとした地域密着型の奉仕活動を行っていきたくと思っています。

(会長：田口 務)

淡路三原ロータリークラブ

9/6
(木)



淡路三原ロータリークラブは、昨年度55周年を迎え、いよいよ60周年に向けて歩みははじめました。従来のロータリーの価値

観と、RIの方向性の変化が問われる中、私たちは50周年を迎えた際の、今後10年を見据えたクラブ方針「地域 ところ 文化」に沿うよう今年度も活動してまいります。

(会長：岡田 英明)



■「増加及び増強について」

会員増加および増強が必要とすれば、根本的には質と数との問題はありますが、なぜ増加及び増強が必要なのかを理解しこの事を原動力とすることが大切だと思います。

RIロータリー章典(2017年6月版)によれば、「5.010.会員増加および増強」および「5.010.1.会員の増加における個々のロータリアンの役割」には「ロータリー会員であることの利点を他の人に推進することは、全てのロータリアンにとって共通した個人的な責務である。」と記されています。また、ロータリーの目的の第1には、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること、とされています。これらからすると、そもそも会員増加および増強は全てのロータリアンの責務なのです。

個々の地区やクラブの問題として考えてみた場合には、1つの指針として「ロータリー章典(2017年6月版)17.010.3.地区の規模」には「クラブ数が75に満たない、また所属ロータリアン数が2700名に満たない地区にこれらの数に達するよう奨励している」となっています。これからするとこの基準を満たすまでは増加および増強の必然性ありと判断されますが、では基準を満たしている地区はこれ以上増加及び増強の必要はなくても良いのでしょうか？

1地区平均2700名止まりで良いとするなら我国は34地区ですから合計で91800人程度となり、RIは1ゾーン35000人±10%が必要としていますので、これでは3ゾーン(105000人必要)を保つ事が出来ません。3ゾーン体制を保つなら現状では計算上1地区平均3100人が必要となりますが、全ての地区やクラブがこの基準に達する事には中々計算通りにはいかないでしょう。

日本は今までの3ゾーン体制が今後2.5ゾーンに減少することが決定しています。日本のロータリアン数は現状90000人弱ですから元の3ゾーン体制に戻すなら人数的には全国で約15000人の増加が必要となります。基本的に個々の地区ではなく、日本ロータリー全体(各ゾーン)の問題として増加および増強を優先して考える事だと思います。

大きな地区はより大きく、小さな地区は少なくとも基準に向かつての普段の努力が求められます。短期的(3~5年程度)で純増15000人(1地区平均純増450人程度)の増加は可能でしょうか？簡単に可能な地区もあれば、中々難しい地区もあるかも知れませんが、数字的にみれば6人のロータリアン(全国で15000組)が数年で1人以上の会員を確実に入れれば達成できる数なのです。60人の会員数のクラブであれば、10人の会員増となります。

1つのメルクマールとして6人組を作ってはどうでしょうか。1つの方法論として申し上げました。

第1ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 坂本元彦(富士見)

■「会員基盤向上セミナーから感じたこと」

今年も3月末に「会員基盤向上セミナー」が200名を越える参加者を得て、大変熱気に溢れたセミナーが開催出来、開催者の1人としてホッとすると共に各地区が会員増強・退会防止に苦慮していることを改めて強く感じました。

今回は、会員増強に成功された事例を多くご紹介することに重点を置いて、RC・RPIC・RRFCの方々準備を進めました。今回、取り分け反響が大きかったのは、大宮西RC高橋会長、東京八王子西RCの三浦PAGの事例紹介であったと感じています。その両名のお話に共通していたことは、誰がリーダーシップを取るのか、会員各位も増強や退会防止に関心はあるが、最初の一步をどう踏み出すかということが一番重要だと強調されていました。

増強に成功されているクラブは多かれ少なかれ、また形を変えてクラブの「戦略計画」を持たれています。八王子西RCは創立50周年を一つの契機にクラブ全体で50周年に100名を達成するという共通認識を持ち、会員各位がそれぞれ役割を持ち推進し、結果目標を達成したとお聞きしました。その勢いは、現在も続いており115名から120名を視野に増強を続けていると伺っています。

地区を挙げての取り組みの成功例は2840地区が2013-14年度からの3年間で150名を越す増強に成功されていますが、ガバナー、エレクト、ノミニーとの連携で戦略計画を策定され、大きな成果を上げられました。

また、全国で最も会員数の多い2760地区は昨年度、神戸ガバナーのリーダーシップの下、地区を挙げてクラブの戦略計画導入に尽力され、5000名に届く勢いの増強とクラブ拡大を達成されています。どんな組織でも、目標を持ち、それを実現するための計画が必要とされています。組織はその戦略に従うものであり、組織ありきでは決してありません。最初のリーダーシップを誰が取り、力強い第一歩を踏み出すのかが、各クラブ、またそれを支える地区チームにとって最大の課題であると感じています。それを出来るのは、やはり会長であり、ガバナーであると思います。ただ、大事なことはガバナー年度、会長年度になって出来るものではなく、エレクト、ノミニーの時代からの思いと連携が必要であると考えます。

また、強調したいのは、パストという役割です。パストは終わりを意味するのではなく、次の始まりであるとの認識が必要です。戦略計画を実行していく上で、パストの役割は大きいと感じています。あくまでも、現年度のサポートという役割です。

さて、最後に多様性についてですが、基本はやはり職業分類にあると思います。クラブが未永く繁栄していくためには、様々な意味で多様性が必要であることは論を待たないと考えます。その基本にはクラブの構成メンバーのバランスが肝要だと強く思います。2760地区を拝見していると、その重要性を改めて感じます。もちろん、年齢構成、女性会員の比率なども重要ですが、職業分類の多様性もクラブの戦略計画を策定する場合の大事な要因であると思います。

会長、ガバナーには最初の一步を力強く踏み出していただきたいと思います！再度、3ゾーン復活を目指しましょう。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 水野 功(東京飛火野)

◆2019-20年度浅木ガバナー事務所開設のお知らせ

所在地

〒650-0064 兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1
 神戸ポートピアホテル本館7階722号室
 T E L : 078-304-2680
 F A X : 078-304-2681
 E-mail : rid2680@abelia.ocn.ne.jp



執務時間

月～金曜日 10:00～17:00 (土・日・祝日は休み)
 *ガバナー事務所の統一により、矢野ガバナー事務所と同一の
 事務所並びに事務局員となります。

◆2019-20年度ガバナー補佐名簿

グループ	氏名	所属クラブ
尼崎	神谷 誠治 (かみや せいじ)	尼崎中
阪神第1	下岡 節三 (しもおか せつぞう)	川西猪名川
阪神第2	石川 淳朗 (いしかわ じゅんろう)	芦屋川
阪神第3	安行 英文 (やすゆき えいぶん)	三田
神戸第1	井堂 信純 (いどう のぶすみ)	神戸
神戸第2	奥田 祐司 (おくだ ゆうじ)	神戸中
東播第1	尾上 潤二 (おのえ じゅんじ)	明石北
東播第2	新井 哲三 (あらい てつぞう)	高砂
東播第3	伊藤 英樹 (いとう ひでき)	三木
淡路	川端 英雄 (かわばた ひでお)	津名
西播第1	増田 泰之 (ますだ やすゆき)	姫路東
西播第2	大西 賢一 (おおにし けんいち)	相生
但馬	若宮 正仁 (わかみや しょうにん)	豊岡円山川

8月16日(木)～17日(金)◆ユニトピアささやま
インターアクト小委員長 **長井彦一郎**(芦屋川)

今年の年次大会は篠山中学校インターアクトクラブ(以下IAC)が担当校でしたが、年次大会を中学生だけで設営することは大変なので、同じ篠山の地で活動している篠山鳳鳴IAC、篠山産業IAC、篠山東雲IACの高校生が、コ・ホストクラブとして一緒に設営を行いました。

4つのIACをスポンサーする篠山ロータリークラブは、4つの学校を取りまとめることになり、大変なことだったと思います。

プログラムは、講演会①として「日本遺産・創造都市のまち丹波篠山について」を、篠山市役所政策部、創造都市課、創造都市推進係から小山氏、講演②として「みんながつくる農村の未来」について、神戸大学大学院農学研究科から中塚氏をお招きし、講話していただきました。夜には、ちょうど

「篠山デカンショ祭り」の日にあたり、インターアクト全員でデカンショ踊りを体験いたしました。ほとんどのアクターは初体験で、思い出に残る貴重な体験をいたしました。2日目は前日の講話を元にワークショップを行いました。

篠山の4つのインターアクトクラブと篠山ロータリークラブが一丸となって行いました素晴らしい年次大会となりました。



9月9日(日)◆神戸市青少年会館

ローターアクト小委員長 **古川 忠之**(柏原)

ロータリアン、ロータリーファミリー（以下RF）の合計80名の参加で開催されました。7月8日のローターアクト（以下RA）地区交流会が天候不良の為中止となり、この日が今年初めての地区行事になりました。

第1部では、どうしたらRAを広められるのかを考えた時、「外に上手く発信出来ていない」「RAとは何か上手く答えられない」という課題が見えたところ神戸RACから趣旨説明があり、国内・海外のネットワーク、地域密着、ロータリアン・RFとの繋がりと、奉仕活動、能力・知識向上について話し合い、いろんな魅力・可能性を知り今後の活動ヒントを見つけて各クラブに持ち帰る事ができました。

第2部では、神戸新聞の川上隆宏さんを講師にお迎えし、ことばの定義、広告・広報PRで大切なこ

と、伝えるべきストーリー、まずは伝えたい相手を明確にしよう、トリプルメディアの運用法等をお話し頂きました。今後の広報活動を通して、地域の人達の理解を深め、支援を募り、会員増員につなげられるように努めていきたいと思えます。



2018学年度 米山記念奨学生・カウンセラー合同ミーティング

9月9日(日)◆JEC日本研修センター神戸元町

米山記念奨学委員長 **秦 紳一郎**(洲本)

奨学期間を約半分残すこの時期にカウンセラーが一堂に会し、改めて研修を行うと共に、引き受けた感想や、悩み、良かったことなどの事例を共有し、残りの奨学期間を充実したものにするために毎年開催しております。カウンセラーの研修の後、4グループに分かれて意見を交換しました。昨年より奨学生のミーティングも併せて行い4グループに分かれてディスカッションをロータリアン抜きで行いました。その後は全体で奨学生たちの発表を聞き、最

後に、米山月間の卓話に関する研修を行った後、場所を変えて交流会を開催しました。



ロータリー研修デーのお知らせ

本年度は、12月2日(日)、ロータリー研修デーを開催いたします。地区の委員会がそれぞれ様々なセミナーを開催しますので、ご希望のセミナーにご参加ください。

詳細については、ガバナー月信11月号で発表いたします。

場所：加古川プラザホテル・加古川商工会議所（※同じ建物です）

日時：12月2日（日）

10：00～12：30	セミナー第1部 多様化推進セミナー 公共イメージセミナー 社会奉仕セミナー 国際奉仕セミナー
12：30～13：15	昼食
13：20～14：30	基調講話 講師 RI研修リーダー 本田 博己氏（前橋RC）
14：45～17：15	セミナー第2部 クラブ管理運営セミナー 増強拡大セミナー 職業奉仕セミナー ロータリー財団セミナー



クラブプロジェクト紹介

芦屋川エコフォーラム

芦屋川ロータリークラブ

地区の奉仕プロジェクト特別会計支援金を活用させていただき、「芦屋川エコフォーラム」を開催いたしました。芦屋市は山、川、海という自然環境を始め、すぐれた住環境に恵まれています。私達の街芦屋にとって今後考えなければならないことは、現在の環境維持と更なる快適環境を創出するにはどうすれば良いかということです。それを推進してゆくためにもエネルギー問題は避けて通れないテーマの一つでもあります。今回午前の部では市内の子どもたちに芦屋川に生育している水生生物を捕獲し、専門家を交え観察学習会を行いました。午後の部では、灘高等学校卒業後ハーバード大学在学中で環境エネルギー工学・環境政策専攻の高島峻輔さんに「まちにやさしい自然エネルギー」について、若い講師による講話を行っていただきました。そのあと環境について再生エネルギーをどのように進めてゆくかについて、市民・若者・企業と行政がパネルディスカッションで議論し、芦屋の環境と未来について考える機会となりました。

（文責：会長 市川 洋子、実行委員長 長井 彦一郎）

8月25日(土)◆芦屋市民センター大ホール



甲子園ロータリークラブ

母子・父子家庭の為に ヨットクルージング体験

西宮市福祉協議会及び西宮市婦人共励会の協力により、西宮市に住む母子・父子家庭の親子57名を招待し、クルージング体験を開催しました。当日は快晴の中10時半から受付をし、11時からはクルーザー2艇を使って、西宮を海上から眺めるクルージングを行いました。

クルージングは30分間で4往復するスケジュールとなりましたが、どの回も子供達は船酔いもせず海上では歓声を上げ、保護者からも「このような体験は初めて。大変有難い」との声を頂きました。

お昼は全員集まってサンドイッチとジュースによる昼食を楽しんで頂き、その後に西宮神社宮司による、西宮に古くから伝わる海のお祭り、「渡御祭」についてDVD鑑賞と説明をして頂きました。西宮の歴史を知る貴重な機会となりました。

(文責：青少年奉仕委員長 野並 健治)

▶8月18日(日)

▶新西宮ヨットハーバーと西宮浜海上

プロジェクト予算総額：370,680円 地区補助金額：185,340円



西宮夙川ロータリークラブ

各国の児童絵画を通じて地域 文化振興を図るイベント群

「国際児童絵画交流展で海外の文化を知ろう」をテーマに、児童絵画展・シンポジウム・ワークショップのイベント群が開催された。

シンポジウムでは海外と日本の指導者を迎え美術的のみならず、心理学的な側面からも海外と日本の児童絵画の違いとその分析等が解説された。児童絵画展示は、当日のシンポジウム会場にパネルを設営し展示するほか、西宮市立市民ギャラリーでの西宮ぎやらりーさんぽの会場に於いても展示を行った。

ワークショップでは「心を伝える」をテーマとした絵手紙制作を行った。「伝えるべきメッセージをどのように表現すべきか？」制作に入る前に考える事の大切さを学び、大人も子供も一生懸命に取り組み、楽しく制作した。シンポジウム92名、ワークショップ72名、合計164名の参加者を迎え盛会となり、無事終了した。

(文責：地区補助金管理委員長 松岡 繁郎)

▶8月26日(日)

▶ホテルヒューイット甲子園

プロジェクト予算総額：878,148円 地区補助金額：439,074円



新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう(敬称略・クラブ順)

尼崎



芝 俊一
商工会議所
7/23入会

伊丹



佐藤 実路
コンビニエンスストア
7/26入会

西宮



布目 荘太
家庭薬配布
7/10入会

芦屋川



堀田 幸伸
資産管理
5/8入会

神戸



多田真規子
鉄道運輸
8/2入会

神戸東灘



井上 勝正
歯科医
8/6入会

神戸南



乾 正博
エネルギー供給
6/18入会



藤尾 憲弘
倉庫業
7/30入会



北野 泰造
酒精飲料販売
7/30入会

神戸垂水



藤本 靖子
幼稚園
8/2入会

明石



加藤 大典
損害保険
8/1入会

加古川中央



藤川 英典
土木業
7/12入会

姫路南



辰本 修一
地方銀行
8/6入会

姫路西



岩谷 浩樹
鉄鋼業
5/30入会

姫路東



糴川 英毅
電気機械器具製造販売
3/19入会



高原 敏緒
証券業
5/28入会

神戸崎



尾上 克具
鉱物採掘業
8/9入会

豊岡



橋本 幸二
都市ガス供給
8/10入会

ご寄付感謝・ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



芝田 一夫
(川西)



吉川 立志
(伊丹有明)



赤木 幸子
(西宮夙川)



永田 博巳
(加古川平成)



能見洋八郎
(生野)



乾 正博
(神戸南)

ポール・ハリス・フェロー



藤尾 憲弘
(神戸南)



北野 泰造
(神戸南)

米山功労者メジャー(13回)



小山 隆
(伊丹有明)

米山功労者(7回)



藤井 良夫
(伊丹有明)

米山功労者(6回)



池永 明義
(伊丹有明)

米山功労者(3回)



辻 勝蔵
(豊岡)

米山功労者(2回)



金井 基広
(神戸須磨)

米山功労者(1回)



山崎 貞雄
(神戸須磨)

大室 儁パストガバナー、理事にご就任

2018年9月10日付で、大室 儁パストガバナー(宝塚武庫川)が、公益財団法人ロータリー日本財団の理事に就任されました。任期は2020年9月頃までです。



ガバナー事務所からのお知らせ

◆職業分類の間違いとお詫び

月信3号16ページに掲載の、松岡 昌彦新会員(西宮夙川)の職業分類が間違っておりました。正しくは「歯科」です。
お詫びし訂正いたします。

ご冥福をお祈り申し上げます



故 松浦 梅春 氏(姫路東)
7月7日 享年95歳



故 野村 侃 氏(伊丹有明)
9月3日 享年79歳



故 嘉納 忠夫 氏(神戸東)
9月6日 享年87歳

10月・11月の地区活動予定

日	時	行 事 名	場 所
10月 3(水)	18:00~20:00	第3回規定審議委員会	神戸三宮東急REIホテル
	15:30~17:30	第7回HYOGOフェスタ実行委員会	神戸三宮東急REIホテル
4(木)	15:00~18:00	ロータリー財団委員長会議	ガバナー事務所 724号会議室
	18:00~20:30	VTTバヌアツ来日オリエンテーションおよび歓迎会	神戸ポートピアホテル
7(日)	11:00~14:00	第1回RID2670・RID2680RYLA合同委員会	サンポート高松7F アートビレッジ
11(木)	10:00~	増強拡大委員会ゴルフコンペ	有馬ロイヤルゴルフクラブ
12(金)	17:00~19:00	第4回ポリオプラス小委員会	ガバナー事務所 724号会議室
15(月)	18:00~	HYOGOフェスタ出店者説明会	神戸海洋博物館 (メリケンパーク)
21(日)	10:00~12:00	第3回青少年交換小委員会	センタープラザ西館6F 会議室
	13:00~	2018-2019年度青少年交換長期来日生第3回・ 2019-2020年度派遣候補生第2回オリエンテーション	センタープラザ西館6F 会議室
23(火)	10:30~14:30	第27回兵庫県プロバスケットボール交流会	兵庫県教育会館 ラッセホール
	16:00~17:30	第4回地区運営会議	ガバナー事務所 724号会議室
27(土)	15:00~17:00	第4回米山記念奨学委員会	未定
11月			
3(土・祝)	10:00~17:00	ひょうご五国+ワールドフェスタ	神戸メリケンパーク
4(日)			
11(日)	10:00~12:00	第4回青少年交換小委員会	センタープラザ西館6F 会議室
	13:00~	2018-2019年度青少年交換長期来日生第4回・ 2019-2020年度派遣候補生第3回オリエンテーション	センタープラザ西館6F 会議室
12(月)		VTTバヌアツプロジェクト成果報告・送別会	神戸ベイシエラトン&タワーズホテル
18(日)		米山日本文化セミナー	未定
20(火)		第47回ロータリー研究会 (～21日)	神戸ポートピアホテル
23(金・祝)		インターアクト次期リーダー講習会	
24(土)	15:00~17:00	米山 面接官オリエンテーション	未定
29(木)	16:00~17:30	第5回地区運営会議	地区事務所 加古川商工会議所 5F

文庫通信 (372号)

◆ ◆ ◆ 最近の資料より ◆ ◆ ◆

- ◎ 「ロータリーの扉を開く言葉」 服部芳樹 2018 11p
- ◎ 「ロータリー語ときあかし辞典」 服部芳樹・北川宥智 2018 43p
- ◎ 「日本のロータリーの伝統を守るクラブ細則」 服部芳樹 2018 12p
- ◎ 「職業奉仕委員会報告書-永続・発展の職業奉仕とは！」 D.2530 [2018] 28p
- ◎ 「『内向き』と『外向き』わかりやすい職業奉仕」 D.2780 2018 43p
- ◎ 「プロフェッションの職業奉仕」 高良 明 2018 5p
(凡太の奉仕経営物語)
- ◎ 「ヘルスイ ライフ-ロータリアンの願い」 小林 博 [2018] 17p
[上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎ 「ロータリーの心と原点〈改訂第8版〉」 廣畑富雄 2018 171p
[申込先：(株)エムケイスペース FAX (092) 737-9557]
- ◎ 「ロータリー財団ハンドブック」 D.2750 2018 123p
[申込先：D.2750 FAX (03) 5472-2750]
- ◎ 「初期ロータリーを顧みて」 鈴木 宏監修 2014 106p
[申込先：鈴木 宏 FAX (028) 660-2224]

*発行年の明らかでないものには〔 〕を付しています。

国際ロータリー第2680地区 2018年8月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数						増	減		クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数						増	減	
				7/1の会員数		当月末会員数		増減								7/1の会員数		当月末会員数		増減				
				総数	うち女性	総数	うち女性	総数	うち女性							総数	うち女性	総数	うち女性	総数	うち女性			
尼崎6	尼崎	3	83.83	31	1	32	1	1	0	東播第14	明石	4	82.67	46	0	46	0	0	0					
	尼崎北	4	87.18	39	0	39	0	0	0		明石西	4	98.53	35	2	35	2	0	0					
	尼崎東	4	98.23	44	0	45	0	1	0		明石北	3	90.22	42	0	42	0	0	0					
	尼崎西	4	90.09	35	2	37	2	2	0		明石南	4	93.42	21	0	20	0	-1	0					
	尼崎南	4	77.73	33	4	37	4	4	0		小計		91.21	144	2	143	2	-1	0					
	尼崎中	4	82.60	23	1	24	2	1	1		東播第25	高砂	4	97.60	41	3	42	3	1	0				
	小計		86.61	205	8	214	9	9	1			加古川	3	86.51	78	0	78	0	0	0				
阪神第16	伊丹	4	87.78	42	0	43	0	1	0	加古川中央	4	87.06	59	0	60	0	1	0						
	川西	4	92.09	31	6	31	6	0	0	高砂青松	4	80.00	43	2	43	2	0	0						
	伊丹有明	3	100.00	19	0	19	0	0	0	加古川平成	3	92.31	16	1	16	1	0	0						
	川西猪名川	2	91.65	21	3	20	3	-1	0	小計		88.70	237	6	239	6	2	0						
	伊丹昆陽池	3	83.33	8	0	8	0	0	0	東播第35	三木	4	99.03	51	0	52	0	1	0					
	西宮イブニング	3	90.38	20	8	20	8	0	0		小野加東	3	98.40	45	1	46	1	1	0					
小計		90.87	141	17	141	17	0	0	北条		3	100.00	37	2	38	2	1	0						
阪神第26	西宮	3	99.37	54	0	55	0	1	0	淡路5	西脇	3	96.35	46	0	46	0	0	0					
	芦屋	4	80.87	41	0	41	0	0	0		三木みどり	3	100.00	32	1	32	1	0	0					
	甲子園	4	83.34	38	2	39	2	1	0	小計		98.76	211	4	214	4	3	0						
	西宮夙川	4	93.20	34	3	35	3	1	0	淡路6	洲本	3	86.46	33	1	33	1	0	0					
	芦屋川	3	88.70	29	4	29	4	0	0		南淡路	4	87.93	29	3	29	3	0	0					
西宮恵美寿	4	75.00	24	5	26	5	2	0	淡路三原		5	100.00	18	1	18	1	0	0						
阪神第38	宝塚	3	91.67	21	2	20	2	-1	0	西播第16	津名	4	88.58	31	1	32	1	1	0					
	三田	3	89.37	20	0	20	0	0	0		あわじ中央	4	88.00	24	0	24	0	0	0					
	篠山	4	100.00	45	0	44	0	-1	0	小計		90.19	135	6	136	6	1	0						
	柏原	4	80.71	49	0	49	0	0	0	西播第24	姫路	3	86.55	82	0	86	0	4	0					
	宝塚武庫川	3	86.27	37	1	37	1	0	0		姫路南	3	100.00	75	0	76	0	1	0					
	三田南	4	100.00	8	0	8	0	0	0		姫路西	4	84.37	71	2	71	2	0	0					
	宝塚中	4	92.12	31	8	31	8	0	0		姫路東	3	100.00	67	2	65	2	-2	0					
	HYOGO REC	3	63.89	24	5	24	5	0	0		神崎	4	84.12	26	0	27	0	1	0					
小計		88.00	235	16	233	16	-2	0	姫路中央		4	100.00	4	0	4	0	0	0						
神戸第16	神戸	4	88.03	161	2	159	3	-2	1	但馬5	赤穂	4	95.52	34	0	34	0	0	0					
	神戸東	3	84.08	113	0	113	0	0	0		相生	4	100.00	34	2	36	2	2	0					
	神戸東灘	3	88.88	27	4	28	4	1	0		龍野	4	91.61	49	5	48	5	-1	0					
	神戸南	3	75.33	82	0	84	0	2	0	上郡佐用	4	98.91	24	8	23	8	-1	0						
	神戸六甲	3	78.57	15	0	15	0	0	0	小計		96.51	141	15	141	15	0	0						
	神戸ベイ	3	89.50	19	2	20	2	1	0	豊岡	5	94.40	38	0	38	0	0	0						
神戸第27	神戸西	3	87.98	50	5	50	5	0	0	生野	4	82.96	22	0	22	0	0	0						
	神戸須磨	4	95.16	31	0	31	0	0	0	香住	3	99.33	12	0	12	0	0	0						
	神戸北	3	72.21	18	1	18	1	0	0	豊岡円山川	3	92.31	27	0	27	0	0	0						
	神戸垂水	3	95.94	25	4	27	6	2	2	和田山	4	87.50	24	2	24	2	0	0						
	神戸西神	4	98.60	39	1	38	1	-1	0	小計		91.30	123	2	123	2	0	0						
	神戸中	3	90.91	38	3	38	3	0	0	合計	73RC		90.46	2,763	118	2,789	122	26	4					
	神戸モーニング	4	92.86	28	2	30	2	2	0															
小計		90.52	229	16	232	18	3	2																

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2018年7月1日 クラブ会員数……………2,763人
 ◆2018年8月末 クラブ会員数……………2,789人

◆2018年8月末女性会員数…………… 122人
 ◆2018年8月平均出席率……………90.46%
 ◆増減…………… 26人増



Rotary District2680



ロータリーデー ひょうご五国 + ワールドフェスタ World Festa

地球のために、平和のために、未来のために

スーパーキッズ
オーケストラ



Copa Latin

KOBerries



小関ミオ

にこいち

「地球」「平和」「未来」テーマに沿った3ゾーンでイベントが開催!

ひょうご五国の特産と、世界各国のグルメ屋台やステージも11/3(プラスバンドDay)、
11/4(ダンス&パフォーマンスDay)などもりだくさん!!

For The Earth

地球のために

- 環境問題活動発表ブース
- インターアクトクラブ活動ブース



For The Peace

平和のために

- END POLIO NOW ポリオ撲滅のための募金
- 国際理解・国際交流ブース
- 国際屋台 世界のグルメ大集合



For The Future

未来のために

- 社会的弱者支援ブース
- 兵庫地域創生 特産・名産コーナー



2018.11/3(sat)・4(sun) 10:00-17:00 神戸メリケンパーク

支援金募金のお願い ※平成30年台風21号及び、北海道胆振東部地震募金のお願い

募金は被災自治体などにお届けし、被災された皆さまの支援に役立てられます。ご協力をお願い致します。
(イベント当日募金箱を設置いたします)

詳しくは、国際ロータリー第2680地区2018-19年度 ガバナー事務所

TEL 078-304-2680 FAX 078-304-2681 E-mail: yano2680@arrow.ocn.ne.jp

■主催：国際ロータリー第2680地区 ガバナー 矢野 宗司
HYOGOフェスタ実行委員会 委員長 丸尾 研一

■後援：兵庫県／神戸市

<http://rotary-fes.com>

※写真、イラストはイメージです。

国際ロータリー第2680地区
ガバナー 矢野 宗司

事務所
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル本館7階722号室
TEL：078-304-2680 FAX：078-304-2681
E-mail yano2680@arrow.ocn.ne.jp